

中国株ウィークリーレポート

2018/11/19

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	17年末株価
NYダウ	25,413.22	123.95	0.49	-2.22	2.81	24,719.22
NASDAQ	7,247.87	-11.16	-0.15	-2.15	4.99	6,903.39
日経225	21,680.34	-123.28	-0.57	-2.56	-4.76	22,764.94
上海総合	2,679.11	10.94	0.41	3.09	-18.99	3,307.17
滬深300 (CSI300)	3,257.67	15.30	0.47	2.85	-19.18	4,030.86
ハンセン	26,183.53	80.19	0.31	2.27	-12.49	29,919.15
中国企業	10,583.77	28.28	0.27	1.46	-9.61	11,709.30

【株式概況】

先週の動き: ハンセン指数は 2.3%高と反発、上海総合指数は 3.1%高

香港市場ではハンセン指数が週間で 2.3%高と反発。米中当局者による貿易交渉の進展が伝わり、週を通じておおむね堅調に推移。15日には終値で1週間ぶりに節目の26000ポイント台を回復した。テンセントが市場予想を上回る好決算を発表したことで市場心理が改善。米長期金利の上昇一服で資金流出懸念が後退したことも相場を支えた。本土市場では上海総合指数が週間で 3.1%高と反発。週初の12日に終値で節目の2600ポイント台を回復すると、その後も当局による景気対策への期待などを背景に堅調に推移した。

今週の展望: 香港市場はもみ合いか、米中貿易問題を巡る報道に一喜一憂

香港市場はもみ合いの展開が見込まれる。米中貿易問題を巡って米中首脳会談に向けた両国の駆け引きが本格化する中、APEC 首脳会議では米中の対立で首脳宣言の採択を断念。ペンス米副大統領は「中国が態度を改めるまで行動を変えない」と中国側に譲歩を迫っており、引き続き貿易問題を巡る報道に一喜一憂する展開となりそうだ。一方、本土市場も貿易問題を巡る先行き不透明感からもみ合いの展開が見込まれる。今週は主要経済指標の発表は予定されておらず、貿易問題を巡る報道に敏感に反応する展開となりそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

順位	銘柄	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1	銀河娛樂 (00027)	46.25	7.81
2	九龍倉置業地産 (01997)	50.50	6.77
3	華潤電力控股 (00836)	14.76	6.49
4	チャイナ・モバイル (00941)	76.85	5.42
5	万洲国際 (00288)	6.43	5.41
6	碧桂園 (02007)	9.13	5.06
7	華潤置業 (01109)	28.50	4.97
8	中国海外発展 (00688)	26.45	4.96
9	チャイナ・コム (00762)	8.80	4.64
10	太古A (00019)	87.00	4.50

▼騰落率下位

順位	銘柄	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1	中国生物製薬 (01177)	7.36	-6.72
2	石業集団 (01093)	17.40	-4.92
3	ベトロチャイ (00857)	5.68	-3.89
4	CNOOC (00883)	13.10	-3.25
5	瑞声科技 (02018)	53.50	-2.55
6	中国神華能源 (01088)	18.48	-0.65
7	シハック (00386)	6.68	-0.45
8	中国平安保険 (02318)	76.95	-0.26
9	恒安国際集団 (01044)	62.90	0.08
10	交通銀行 (03328)	5.96	0.17

▼今週の主なイベント

- 11月21日(水)
 - 【米国】耐久財受注(10月)
- 11月22日(木)
 - 【米国】感謝祭で休場

▼今週の期待材料

- ◆月末に米中首脳会談の開催で調整、首脳会談に向けて当局者によるハイレベルの接触を再開
- ◆景気対策を背景に中国の固定資産投資と鉱工業生産が市場予想を上回る堅調な結果に、景気減速懸念がやや後退
- ◆業績悪化が警戒されていたテンセントが好決算を発表、業績悪化への過度の警戒感が後退

▼今週の懸念材料

- ◆香港の住宅価格先行指標 CCL が11週連続で下落、週末発表の最新値は前週比 1.28%安の 180.4ポイント
- ◆ペンス米副大統領が「中国が態度を改めるまで行動を変えない」と発言、中国への強硬姿勢を堅持
- ◆パプアニューギニアで開かれていた APEC 首脳会議で首脳宣言の採択を見送り、米中の対立が鮮明に

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ テンセント (00700) : 7-9月期決算は30%増益、広告や決済・クラウド事業が貢献
- ☆ 中国国際航空 (00753) : 10月の旅客数が8%増加、貨物輸送量は1%増
- ☆ 中国神華能源 (01088) : 10月の石炭販売量が12%増加、発電量は3%増
- ☆ 中国生物製薬 (01177) : 22日に7-9月期決算を発表、市場予想は29%増益
- ☆ 中遠海運港口 (01199) : 10月のコンテナ取扱量が13%増加、1-10月も13%増
- ☆ フェニックス・メディア (02008) : アリババとIT分野での戦略提携で覚書を締結
- ☆ 衆安在線財産保険 (06060) : 10月の保険料収入が82%増加、1-10月は95%増
- ◇ 聯想控股 (03396) : チリ上場の養殖業者オーストラリス・シーフーズを買収
- ★ 万洲国際 (00288) : アフリカ豚コレラの感染が19省・直轄市・自治区に拡大
- ★ 小米集団 (01810) : 19日に7-9月期決算を発表、市場予想は前期比で94%減益

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。